

令和 年度 「倫理」 ( 35・清水・倫理703) シラバス案

教科	公民 科	単位数	2 単位	学科		学年/学級	
----	------	-----	------	----	--	-------	--

●学習の目標と評価規準

科目の学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせる。</li> <li>・現代の諸課題を追求したり解決に向けて構想したりする活動を行う。</li> <li>・広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。</li> </ul>
使用教科書／教材	高等学校 公民科「倫理」 (35・清水・倫理703)

観点別学習状況の評価		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。</li> <li>・諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立した人間として、他者と共によりよく生きる自己の生き方について、より深く思索することができる。</li> <li>・現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、理論的に思考し、説明したり対話したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。</li> <li>・多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。</li> </ul>

●学習の計画と評価の方法

月	編	配当時間	学習内容（目次）	学習のねらい（目標）	評価の方法
4月	第1編 現代を生きる自己の課題	6	序章		
			人間とは何か	さまざまな人間観の理解を通して人間の多様な在り方に思索を向けさせるとともに、人間存在への問いから現代の諸課題を探究することを理解させる。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や芸術作品などからの読み取り、小テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
			第1章 個性的な主体としての自己		
			1 心の機能と個性 2 パーソナリティの形成と「私」	心のあり方を科学的に探究してきた心理学の知見を手がかりに、個性やパーソナリティに着目して、青年期の課題を踏まえ豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深める。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や実験や観察、統計的なデータなどからの読み取り、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
			第2章 心と行動をめぐる探究		
			1 人間の活動を支える心 2 認知のしくみ 3 生涯にわたる発達	心のあり方を科学的に探究してきた心理学の知見を手がかりに、欲求や感情、認知、発達に着目して、青年期の課題を踏まえ豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深める。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や実験や観察、統計的なデータなどからの読み取り、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
			第1章 哲学の始源：ギリシア思想		

5月	第2編 人間としての自覚	4	1 神話から哲学へー自然哲学者たち 2 知と徳をめぐる問いーソクラテス 3 理想主義的なあり方ープラトン 4 現実主義的なあり方ーアリストテレス 5 幸福をめぐる問いーヘレニズムの思想	・西洋社会の根幹にあり、現代の合理主義の由来となる古代ギリシアの思想の知見を手掛かりに、幸福、愛、徳に着目して、人間としての在り方生き方についての思索を深める。 ・古代ギリシアの理性をもつ人間という人間観の理解を通して、自分の考えを論理的、批判的に吟味する力や対話する力などを身につけることが大切であることを自覚させる。 ・ソクラテスの思索が人間としての自覚の第一歩であることを自覚させ、各自の人生への問いと結び付けて考察させる。 ・プラトン、アリストテレス、ヘレニズムの思想が人間の存在や価値をいかに論じたかを理解させ、良識ある公民とはいかに在るべきか、いかに生きるべきかという自己の課題について、多面的・多角的に考察させる。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料の読み取り、意見発表、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
		4	第2章 唯一神の宗教：キリスト教・イスラーム教 第1節 愛の教えーキリスト教 1 ユダヤ教 2 イエスの思想 3 世界宗教への展開 第2節 戒律と平等の教えーイスラーム教	・世界宗教としてのキリスト教とイスラーム教の知見を手掛かりに、幸福、愛、徳に着目して、人間としての在り方生き方についての思索を深める。 ・ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教の一神教が神と人間の間をどのように捉えたか、相互の比較を通して理解を深める。 ・キリスト教の原罪や恩寵を特徴とする人間観や神の愛や隣人愛の理解を通して、自己の課題と結び付けて考察させる。 ・イスラーム教の宗教的な義務や戒律などの倫理に関する諸概念の理解を通して、共同体の在り方や人間相互のつながりについて自己の課題と結び付けて考察させる。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料の読み取り、意見発表、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
		5	第3章 東洋思想の源流：仏教・儒教 第1節 智慧と慈悲の教えー仏教 1 バラモン教 2 仏陀の思想 3 仏教とその後の展開 第2節 仁と礼の教えー儒教 1 儒家の教え 2 儒教の展開 3 道家の思想	・世界宗教としての仏教の知見を手掛かりに、幸福、愛、徳に着目して、人間としての在り方生き方についての思索を深める。 ・仏教の人間観や人生観を理解し、生の苦悩とその克服といった課題を、自己の課題と重ね合わせて考察させる。 ・仏教の生命あるもの全てに対する慈悲の教えを通して、共同体の在り方や人間相互のつながりについて自己の課題と結び付けて考察させる。 ・孔子や孟子の言行や宋学の思想の理解を通して、人間についての見方や、望ましい人間関係の在り方について自己の課題と結び付けて思索を深める。 ・老子や荘子の思想における人間観を理解し、人間としての在り方生き方についての思索を深める。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料の読み取り、意見発表、定期テスト 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
6月	第2編 人間としての自覚	1	第4章 芸術と倫理	・自分自身の内面に美を求める心があること、それが人生を豊かにするものであることを理解させる。 ・絵画や造形芸術、伝統文化などの作品や原典資料を手掛かりに、美の概念を自らの生き方と関わらせ、芸術とは何か、芸術が人生や社会に与える影響がどのようなものか、などについて思索を深める。	【知識・技能】【思考・判断・表現】芸術作品の読み取り、意見発表、 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
		1	第1章 近代の成立	・現代社会を根本から考えなおすための手掛かりとして、西洋の近代の特徴を理解させる。 ・合理化や進歩、進化という概念から現代の諸課題を考察させる。	【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料の読み取り、小テスト、 【主体的な態度】ディスカッション、レポート
7月			第2章 世界と人間をめぐる探究		

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2月		8	<p>第2節 近代的個人の自覚</p> <p>1 近代的自我の成立と個人主義</p> <p>2 社会改革の思想</p> <p>第3節 主体的な生き方と価値観の模索</p> <p>1 近代日本の哲学者</p> <p>2 近代日本の思想傾向への反省</p> <p>3 現代日本と私たちの課題</p>	<p>せる。</p> <p>・日本人の人間観、自然観、宗教観の特質を、民俗学の知見を手掛かりに、日本人としての自己意識と結び付けて、理解させる。</p>	<p>取り、定期テスト</p> <p>【主体的な態度】ディスカッション、レポート</p>
3月	第5編 現代における諸課題の探究		第1章 自然や科学技術をめぐる諸課題		
		2	<p>1 環境と倫理</p> <p>2 生命と倫理</p> <p>3 科学技術の発展とその課題</p>	<p>先哲を含む他者との対話を通して、生命、自然、科学技術などと人間との関わりについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述させる。</p>	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や文芸作品などからの読み取り</p> <p>【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>
			第2章 社会や文化にかかわる諸課題		
		2	<p>1 文化や宗教の多様性と倫理</p> <p>2 国際平和と人類の福祉</p>	<p>先哲を含む他者との対話を通して、福祉、文化と宗教、平和などについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述させる。</p>	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】原典資料や文芸作品などからの読み取り</p> <p>【主体的な態度】ケーススタディ、ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>